

事業報告書

1. 団体名	はるのひ - 春日部を未来につなぐ会 -
2. 事業名	つなげ、笑顔の輪！地域の『心』を未来に紡ぐ
3. 対象	事業の対象となった地域や地域住民を記入してください。 亀岡市曾我部町春日部区の住民、移住者、農地を借りている新規就農者、近隣の地域住民、Instagram・亀岡市のLINE配信を見てイベント参加してくれた大阪府・京都市・八幡市からの参加者
4. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和7年4月1日～令和8年3月31日までです。 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
5. 地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。
【課題】	
<p>① 【地域住民の高齢化、人間関係の希薄化】</p> <p>亀岡市曾我部町の高齢化率は、全体で47%。町内には12区あり、区単位によって高齢化率に差異はあるが、40%を超える区が9区に上り、うち6つの区で半数以上が65歳以上となっている。（2020年国勢調査による）</p> <p>春日部区は曾我部町の最南端に位置し、高齢化率は32%と曾我部町内では低い数値であるが、かつては小学生20名以上が列をなして小学校へ通っていたが、現在は3名、子供会は人不足のため休会してしまった。区内での運動会や子供会などの地域の活動が盛んだったころは、世代を超えた交流が自然とできる環境にあり、地域の中で温かく見守られて育つ子どもたちの姿があったが、今では世代を超えた地域活動がなくなってしまった。近くに住んでいても、あいさつほどで関係性が希薄で困っているかどうか、家庭内のことは見えにくくなってしまっている状況である。</p> <p>また、曾我部町内には、近年、新興住宅地が増えているが、他地域から来た子育て世代の家族と地元住民との交流の機会が少なく、多世代での情報共有等が課題である。</p>	
<p>② 【伝統行事・文化が継承できない】</p> <p>かつては三世代・四世代の暮らしの中で伝えられてきた伝統行事や伝統文化の維持継承が、困難となっている。原因として考えられることは、地域住民の世代間の交流が少ないこと、若い世代の転居、核家族化などによって、伝統文化に触れる機会が減少することで、若い世代の理解が乏しくなり、伝承が難しくなるためである。</p> <p>次世代に伝えていきたいのにもかかわらず伝えていけないもどかしさ、伝統文化が途絶えてしまうことへの寂しさを抱える高齢者がいる。</p>	
<p>③ 【伝統食を伝える機会がない】</p> <p>かつては、農業と共に地域住民の暮らしがあり、農作業に親戚等人が集まり、各家々で振舞われてきた伝統食があった。伝統食を知っている数少ない高齢者が、次世代に伝承したいと願っていて、機会があったら学びたい若者がいる。ただ両者をつなぐ場がないことが課題である。</p>	

④ 【しまい込んでいる人形・生活道具】

現在、高齢者のみの世帯で、かつては雛祭り・五月の節句等四季折々の伝統行事を子ども、また孫と共に過ごしてきたが、時代を経て、役目を終えた雛飾りや五月人形が蔵や押し入れに眠ったままとなっている。しまいっぱなしの人形のことを気にはなっているが、自宅に飾る気力も、体力もなく自分一人の力では飾ることができないという話が聞かれる。人形を処分するにも子や孫と過ごした思い出や贈られた人（実家の両親）の想いを無下にできないと悩んでいる高齢世帯が何軒もある。中には、昭和の初期のものや大正時代のもも含まれており、大切に守っていきたいが、飾る場がなく、自宅に飾っても見てもらう人がいない状況が課題である。

【事業の目的】

- ・ **多世代がつながる場を創る**：地域住民同士の世代間を超えての交流や協力を促進し、地域の結びつきを深めることで、持続可能な地域づくりを支援する。
- ・ **地域の魅力発信と地域の活性化**：地域住民と共に、地域の魅力を発信するイベントを開催し、曾我部・別院地域の住民に足を運んでもらうきっかけとなり、地域創生を目指す。地域の経済や文化、観光資源を活用し、地域の魅力を高めることで、住民や訪問者の関心を引きつけ、地域の活気を促進する。
- ・ **人口減少の抑制**：若者や子育て世代の定住促進や、外からの移住者を呼び込むことで、地域の人口減少に歯止めをかけることを目指す。
- ・ **伝統文化を伝える**：伝統文化や四季折々の行事を体験するイベントを通して、亀岡の伝統的な暮らしを知ってもらい、昔ながらの風習、行事一つ一つに込められた意味深さなどを伝える。また、若い世帯や子育て世代が地域のお年寄りと交流でき、実家に帰ったような温かい人間関係が築ける場を作る。
- ・ **伝統食・食育の発信**：季節ごと、行事ごとに食べられてきた伝統食を次世代に伝承していく食育のイベントを通して、亀岡の伝統文化を魅力として発信していく。伝統食の専門の講師の方をお招きして、地域住民が学び、子育て世代に体験型のイベントを通して伝えていく。
- ・ **新たな価値の創造**：地域資源の再発見と活用：地域に眠る資源や伝統文化を再評価し、それらを活用した新たな産業や観光資源の創出を促進する。しまい込んでいる人形や生活道具などに、新たな価値を見出し、それを活用して、観光に来る人を呼び込みたい。歴史的に貴重な物を大切に守ること。活動を通して、元気な地域を発信することで、都会にない人間関係の温かさや、文化・食・自然の豊かさなどを求めて、この地域を選択してくれる将来の移住者や、Uターン移住者の移住のきっかけの一助になることを期待する。

6. 実施内容

実施した内容を具体的に記入してください。

	(実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など) また、交付決定に記載の条件・アドバイスに対してどのように取り組んだのかについても記入してください。一つのイベントに対して1枠ずつ書いてください。
イベント名	お寺 de 五月人形
事業概要	地域の各家庭にしまい込まれていた五月人形や兜飾りをお寺の座敷に飾り、公開する。春日部区35世帯に声をかけ、15世帯の五月人形が一堂に会した。中には、昭和元年生まれの方の古いものもあった。息子や孫は大きくなり家で出すことがなくなり、何十年も蔵や物置にしまい込んだままになっていた人形たちに光を当て、地域の住民や親族以外にも地域外からの観覧者を呼び込む。一人で出すのは体力的にも辛く、家では見てくれる人がいないからと人形を飾ることにに対して後ろ向きになっていた住民が、地域の人たちと昔の話をしながら人形を出すことで交流が生まれて、会話が弾む。片付け作業の後、お寺の軒先に座って、同郷の70代の女性二人が、「昔はなあ」と嫁入りのときの話や上棟お祝いで各家に料理を持ち寄った話など昔話に花が咲いた。 また、地域外からの観覧者との会話や孫たちがお寺に見に来て写真を撮る光景も見られた。
交付決定に記載の条件・アドバイスに対しての取り組み内容	アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →参加者を増やす工夫として、亀岡市のLINE配信やInstagramの配信等で、市外からの参加者を呼び込むことができた。 チラシのデザイン等にこだわり、若い人にも手に取ってもらえるように工夫した
開催日時	令和7年4月29日～6月29日 毎週(水)(日)(祝)
開催場所	曹流寺
参加費	お気持ち
参加者数	
イベント名	子どもの日/よもぎ編み笠団子づくり
事業概要	『お寺 de 五月人形』公開中のイベントで、五月人形に囲まれた中、五月の節句のお話、よもぎや菖蒲湯などの習わしについてのお話をした上で、編み笠団子作りの講師、松本先生による編み笠団子作り体験を行った。米粉などの材料とぬるま湯で捏ねる作業は、「気持ちいい」と子どもたちが米粉をこねる感触に喜ぶ様子が見られる。団子の生地を蒸し上がりには時間がかかるので、待っている間、白い布地に絵具で色を付けてこいのぼりを製作し、外に泳がせた。団子が蒸しあがったら臼と杵で搗き、木の型で模様をつけてからあんこを挟んだ。きな粉をまぶして出来上がり。どの子どもも「早くやりたい!」と前のめりで楽しんでくれた。亀岡市の伝統食を次世代に伝えることができるイベントとなった。 イベントの1週間前(4/23)に、講師の松本先生にお越しいただき、はるのひメンバーへの指導をいただき、試作品作りと当日の流れの確認等を行った。
交付決定に	アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい

記載の条件・アドバイスに対するの取り組み内容	→参加者を増やす工夫として、亀岡市のLINE配信やInstagramの配信等で、市外からの参加者を呼び込むことができた。 チラシのデザイン等にこだわり、若い人にも手に取ってもらえるように工夫した
開催日時	令和7年5月5日(祝)
開催場所	曹流寺
参加費	500円
参加者数	45人
イベント名	ホタルを観る会
事業概要	<p>お寺の近くの川に毎年ホタルが光るのを、今年のはるのひメンバーの3世代で集まって鑑賞しようと企画した。暗くなるまでの時間を、小学生が中心となって、ホタルクイズを出題。招く予定の講師の都合がつかず、今回は無料開催となった。暗くなり、70代のおばあちゃんから昔は竹ぼうきで優しく捕まえた話を聞き、そっと捕まえるコツを教えてもらっていた。</p> <p>暗くなり、曾我谷川沿いを行くと川岸に光るホタルたちが。「卵を産み付けているんじゃない?」「きっとオスがメスを待っているんだよ。」とホタルクイズで知ったホタルの生態を基に会話が弾む。</p> <p>外灯の明るい光の近くにはおらず、外灯から離れた暗い所にいることを発見。川沿いのザクロの木の周りに止まっているホタルを手で捕まえ、虫かごに20匹くらい捕まえる。お寺に戻り、池の周りで、お寺を真っ暗にして一齐に虫かごから出して放してあげると、ふわりと空へと飛んでいくホタルに「わあ~!きれい!!」と歓声が上がり、素敵な時間となった。</p>
交付決定に記載の条件・アドバイスに対するの取り組み内容	<p>アドバイス： 自分のおばあちゃんおじいちゃんと暮らしていない移住者の親子が、地域のおばあちゃんの知恵や昔の地域の話聞きながら、蛍を鑑賞する時間は有意義な時間となった。</p>
開催日時	令和7年6月13日
開催場所	曹流寺
参加費	なし
参加者数	15名
イベント名	しめ縄づくり

事業概要	春日部区のしめ縄づくりに参加させていただいた。毎年年末に神社のしめ縄を新しくするため、春日部区の役員が集まり稲藁から作っている。稲わらの束を3つに分けて、その一つ一つを3人がかりでねじりながら作っていく様子を見学させていただく。子どもや若い世代に快く教えてくださり、体験もさせていただいた。お正月に向けたお寺のしめ縄も作ることができた。
交付決定に記載の条件・アドバイスに対するの取り組み内容	アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →春日部区の役員は全員男性で、はるのひの活動に参加する率が少なく交流がなかったが、今回のしめ縄づくりを通して、関係性を築けた。 今後ともお互いに協力し合えるようになりたい。
開催日時	令和7年12月21日
開催場所	春日部公民館
参加費	なし
参加者数	7名
イベント名	お寺 de ひな祭り
事業概要	地域の各家庭でしまいっぱなしになっているひな飾りを、お寺の座敷に飾り、地域内外からの観覧者を呼び込もうというイベント。公開日に合わせて、地域の各家庭のひな人形の箱をお寺に運び、はるのひメンバーと一緒に組立・飾り付けを行う。組み立てながら様々な話ができ、交流することができている。休みの日には、小学生が飾り付けを手伝ってくれ、最初は戸惑っていた人形の細かい並び順や小物類などを、数を重ねていくことで得意になり、どんどん飾り付けのスピードが上がった。準備をしながら、おばあちゃん世代、親世代、子世代と世代を超えた交流があり、温かい人間関係の構築ができていることを実感する。 公開日には、交代でお寺にお留守番に行き、お留守番のメンバーで会話することも楽しみの一つであるが、見に来ていただいた方とゆっくり会話をしながらお茶を飲んだりと交流が生まれている。
交付決定に記載の条件・アドバイスに対するの取り組み内容	アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →参加者を増やす工夫として、亀岡市のLINE配信やInstagramの配信等で、市外からの参加者を呼び込むことができた。曾我部町自治会の回覧板に入れてもらうようお願いし、町内全域に知らせることができた。 チラシのデザイン等にこだわり、若い人にも手に取ってもらえるように工夫した。
開催日時	令和8年3月1日～3月31日 期間中の(水)(土)(日)と彼岸 3/20～3/23
開催場所	曹流寺
参加費	お気持ち
参加者数	100名超(現在公開期間中～4/4まで)
イベント名	ひな祭りとお餅つき

事業概要	<p>『お寺 de ひな祭り』のお雛飾りの公開の始まりの日に、お寺のご本尊に菱餅やお花をお供えし、皆で手を合わせてからイベントを開始。</p> <p>杵と臼で搗いた搗きたて餅をちぎり、いろいろな味（あんこ、きな粉、納豆、おろし大根、砂糖醤油など）に絡めていただいた。大きな鍋で作った豚汁と一緒に戴き、お腹いっぱいになった子どもたちと、ひな人形についてのクイズをやったり、由来を聞いたり、飾り付けをしたことのない子どもたちと一緒に、座敷の真ん中にある7段の段に、順番にひな人形を飾り付ける体験をした。</p> <p>KBSさんの取材や京都新聞さんの取材を受け、盛り上がった様子を掲載、放映していただくこととなった。</p> <p>未就学児をもつ女性から「親だけでは、体験させてあげることのできない体験をさせていただけありがたい」と感想をいただいた。</p>
交付決定に記載の条件・アドバイスに対する取り組み内容	<p>アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →参加者を増やす工夫として、亀岡市のLINE配信やInstagramの配信等で、市外からの参加者を呼び込むことができた。</p> <p>チラシのデザイン等にこだわり、若い人にも手に取ってもらえるように工夫した</p>
開催日時	令和8年3月1日
開催場所	曹流寺
参加費	500円
参加者数	44名
イベント名	ちらし寿司販売
事業概要	<p>地域の中で新規で始められた、お総菜屋さんにご協力いただき、お彼岸のお墓参りの時期に合わせて、ちらしずしの販売会を行った。地域の方には、予約の注文書を配布し、地域外の方にはオンラインで予約注文できるようにした。</p> <p>当日は、ゆっくりお雛様を見てもらえるようにお声掛けをしたり、お茶を出してゆっくりおしゃべりしていける空間づくりを心掛けた。</p>
交付決定に記載の条件・アドバイスに対する取り組み内容	<p>アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →お寺は檀家じゃないと参加してはいけないという固定概念が先行するが、ちらし寿司の材料を曾我部町の別の区の方から購入し、それをきっかけにお雛祭に足を運んでくださる人が増え、興味を持ってくださる人が広がっていくことを感じるイベントとなった。</p> <p>曾我部町内の別の区の方で、何度かイベントに参加して下さっていた方が、はるのひの活動に共感して下さる方がおり、新規入会していただいた</p>
開催日時	令和8年3月21日
開催場所	曹流寺
参加費	予約販売：400円/当日販売：500円
参加者数	35名

イベント名	はるのひミーティング
事業概要	イベントの前後で、はるのひメンバー全員のミーティングを行っている。 1～2か月に1回程度、次回の予定の確認や企画について話し合いをしている。
交付決定に 記載の条 件・アドバ イスに対し ての取り組 み内容	アドバイス：する側として事業に参加する人を増やす工夫があればなおよい →新規で入会してくれる方が参加しやすいように、業務の細分化を考えて取り組み始めている。イベントの参加者からイベントのお手伝いへと入ってもらえるように声をかけたり、交流したりと関係を深めていきたい
開催日時	令和7年4/22, 5/21, 6/27, 8/9, 10/4, 11/30, 令和8年1/12, 2/21
開催場所	曹流寺
参加費	なし
参加者数	毎回10名程度
7. 成果と 課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を下記の①～④ごとに記入してください。
<p>① 実施結果数値（6.で記入した事業の回数や参加者数などをまとめてご記入ください）</p> <p>お寺 de 五月人形(公開展示) 延べ来場者数 75名 お寺 de ひな祭り(公開展示) 延べ来場者数 100名超</p> <p>子どもの日/よもぎ編み笠団子作り 45名 ひな祭り&餅つき 44名 ちらし寿司販売 35名</p> <p>ホタルを観る会 15名 しめ縄づくり 7名</p> <p>はるのひミーティング 8回/10名～13名程度</p> <p>② 事業による変化・成果（課題解決にどのような効果があったのか）</p> <p>○自宅に引きこもりがちであった80代の女性は、みんなで集まれることが楽しいと次の企画を楽しみにしている</p> <p>○小学生が、地元のおじいちゃんおばあちゃんの顔と名前が一致して、車で通りすがりに手を振りあったり挨拶したり、成長を楽しみにしてもらえる関係となり、活動以外の日常生活での交流ができた。</p>	

○子育て世代の母親は、自分の実家の親（子どもにとっての祖父母）は近くにいないので、世代を超えたつながりの中で、料理や昔の話が聞けたり、とても温かい人間関係の中で子育てできることが嬉しいと話している。

③ 事業を実施しての課題

○地域の中で、周知することの難しさを感じている。情報発信の仕方を回覧板やチラシに頼りすぎている。話す機会を設けて、説明していただくことの重要性を感じる。

○古いものを守っていくことが重要であるが、今後どこまで続けていくのか、保管場所や修繕、ゆくゆくは処分の問題等の課題も考えていく必要がある。

○団体運営について、一局集中している現状であるので、継続していくために、来年度からは業務を細分化して振り分けていく必要性を感じた。

8. 協働の効果	今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。	
<p>地元企業を巻き込んで、地域を盛り上げるために地域住民が動き出した印象。今年度は、餅つきの臼を修理していただいた。来年度は、地元企業にこいのぼりの設置等協力してもらう予定。春日部区の農地・水・環境保全対策向上委員会の景観事業に協力してほしいとのご依頼が来た地元のお総菜屋さんとコラボ企画で、公開展示の期間にお弁当販売などで、来客数の増加があった。今後も継続していきたい。</p>		
9. 今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）
2年目	1年目の事業継続と共に、地域全体で取り組める内容にした。公開展示については、テーマを決めたり、投票などの企画をして、集客を増やす。イベントのお手伝いなどから徐々に協力住民を増やしていく。	参加費・助成金・寄付金
3年目	2年目の事業継続と共に、地域から他の地域を巻き込んで新たな取り組みを始めていきたい。	参加費・助成金・寄付金

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。